

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No. 1111

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島経済大学		科目開講 キャンパス	本学、興動館		
2. 科 目 名	正式科目名	広島を学ぶ ヒロシマを歩いて考える			クラス名	
	副題				配当年次	1
					受入学年	1年以上
	旧科目名					
	学問分野	番号	11	名称	文化・文学	
	サテライトで開講される科目の科目群			A群	B群	
3. 担当教員名	岡本 貞雄・教養教育・教授 / 濱田 敏彦・教養教育・教授 竹林 栄治 経済・准教授 / 徳永 博充・メディアビジネス・教授					
4. 単 位 数	2 単位	5. 開講学期	前期集中			
6. 開講期間 曜日・時間	2015 年 8 月 24 日 (月) ~ 2015 年 8 月 26 日 (水) 8/24 13:00~22:00 8/25 7:00~22:00 8/26 7:00~16:00					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	
	7 回目 /	8 回目 /	9 回目 /	10 回目 /	11 回目 /	
	13 回目 /	14 回目 /	15 回目 /	16 回目 /	試験日 /	
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」					
8. 募集人数 (総授業定員)	制限なし (人)		9. 定員超過時の 選考方法	なし		

10. 科目内容・ 授業計画	1. 科目内容 広島は69年前たった一発の爆弾で壊滅した。そこでどのようなことがあったのか、人々はどのように死んでいかれたのか、また生き抜いてこられたのかを、当時をしのび、被爆証言者の講話や、爆心地復元活動の報告などを聴講し、実際に遺跡を自分の足で歩き、被爆者が逃げ惑った道を移動して見ることによってヒロシマを見つめる。 さらに広島は原子爆弾による被災地としてだけではなく、戦争遂行のための要地としての性格を持つ。戦争を見つめ、生と死について多くのことを学びとることができる貴重な地であり、それらを現地でじかに学ぶことで、あの戦争は一体何だったのかを考え、理解し、今後の生き方の参考となるものを探る。		
	2. 授業計画 8月24日（月）から26日（水）まで3日間の集中講義とし、興動館を宿舎として泊まり込みで行う。 8月24日 広島経済大学に集合（12時30分） 第1回 オリエンテーション（岡本） 第2回 戦前の広島（濱田） 第3回 戦中の広島（岡本・竹林） 第4回 戦後の広島（徳永） 第5回 被爆の状況について講演 夜は広島についてのフリートーキング 8月25日 第6回 広島城（広島壊滅） 第7回 袋町小学校（都心の惨状と避難生活） 第8回 日本赤十字病院、御幸橋（救助の実態） 第9回 糧秣廠跡地、千暁寺 第10回 宇品港（もう一つのヒロシマ） 第11回 平和公園 夜は、広島関係者を交えた討論会 8月26日 第12回 江田島海上自衛隊第1術科学校（海軍兵学校の意味） 第13回 江田島海上自衛隊教育参考館（戦争の残したもの） 第14回 呉港・海軍墓地（兵どもの夢の跡） 第15回 総括、希望者は大和ミュージアム等を見学 希望者は呉で解散 講義内容は現地の状況、証言者の事情等により変更の可能性があります。		
11. 試験・評価方法	講座終了後一週間以内にレポート（400字×5枚程度）を提出。 提出されたレポートと受講態度により評価する。		
12. 別途負担費用	宿泊費（2泊）食費（6食）交通費（バス代）がかかります。昨年は2,500円でした。		
13. その他特記事項	3日間泊まり込みで行うので、各自健康管理をしっかりとすること。2日目は30度を超える場所を移動するので防暑対策を十分にすること。不明な点があれば、授業担当者まで問い合わせてください。 開講学期は前期集中講義ですが、成績評価は後期（9月下旬）となります。		
14. サテライト科目 の社会人受講につい て	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否